

東証1部 9607
株式会社AOI Pro.
個人投資家説明会

AOI Pro.

2012年12月17日

藤原 次彦

AOI Pro.の企業ステートメント

AOI Pro.
Promise
(AOI Pro.の約束)

ひとりひとりが
それぞれの立場や役割の
Professionalとして
最高のクリエイティビティを発揮させ
さまざまな **Produce** を行う。

そこから生み出された **Product** を
社会やステークホルダーの **Profit** につなげる。

それが私たちの **Promise** です。

Creative Native **AOI Pro.**

[Pro]は、「前に」「先へ」という意味の接頭語。私たちは、そこにたくさんの思いや決意を込めました。

会社概要

社名：株式会社AOI Pro.(東証第一部：9607)

英文社名：AOI Pro. Inc.

代表者：藤原 次彦

設立：1963年10月25日

資本金：33億2390万円

売上高：216億円(2012年3月期/連結)、140億円(2012年3月期/単体)

社員数：568名(2012年3月末/連結)、275名(2012年3月末/単体)

事業内容：

1. テレビコマーシャルの企画及び制作
2. デジタルコンテンツの企画及び制作
3. エンタテインメントコンテンツの企画及び制作

本社：〒141-8580 東京都品川区大崎1-5-1 大崎センタービル5F

本日の構成

1. 当社の現状と実績

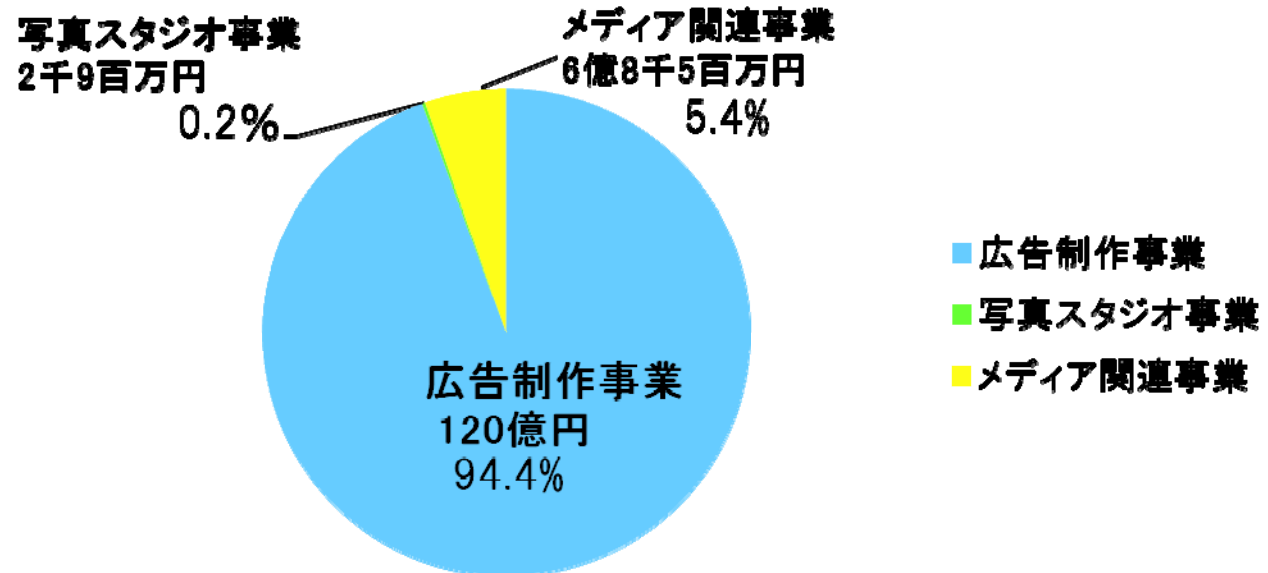
2. 今後の取組み

1. 当社の現状と実績

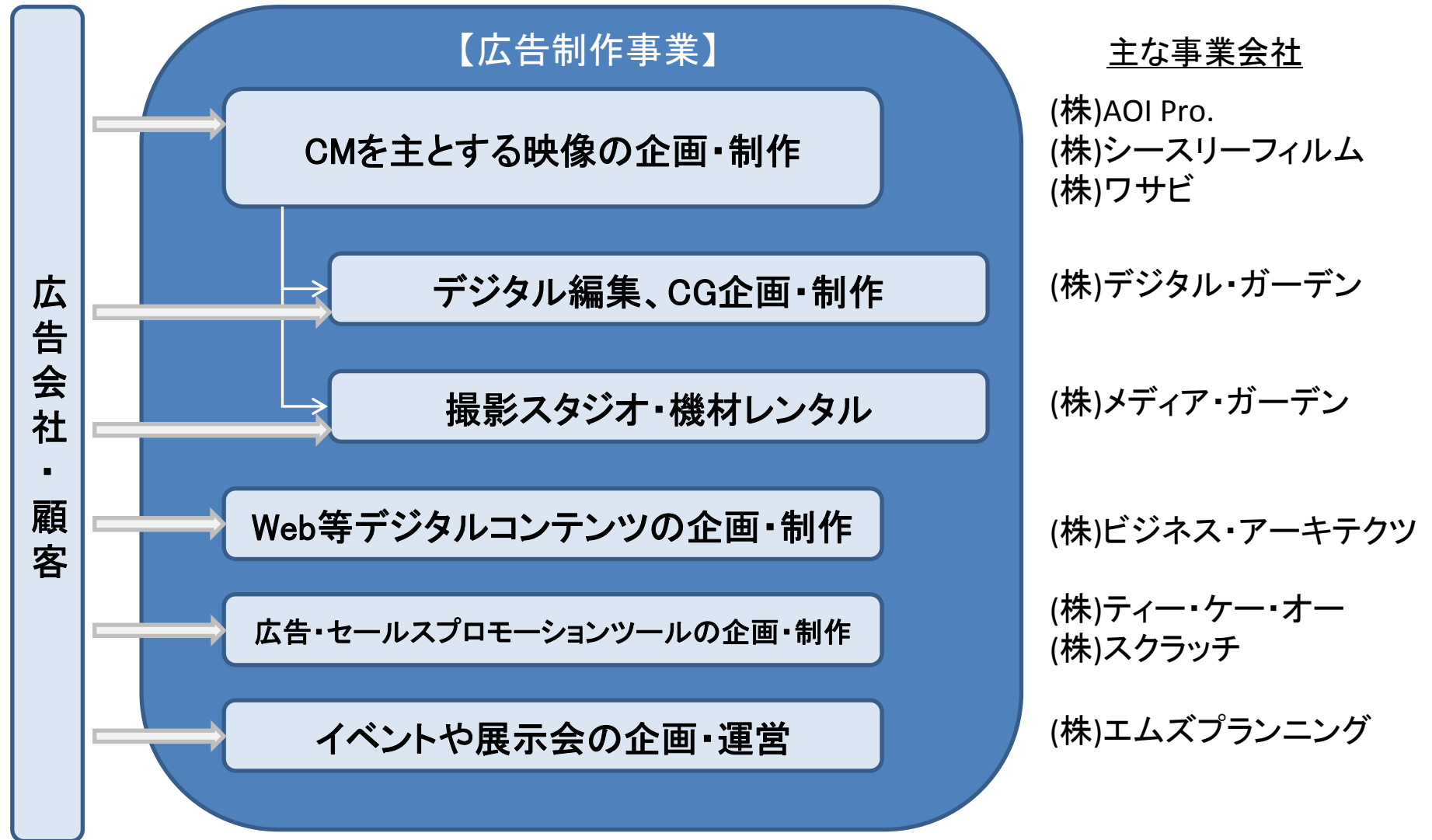
当社グループの事業領域

広告制作事業	主にCM作品、WEB作品の制作及びイベントの運営等、 広告に関わる制作事業
写真スタジオ事業	コンシューマ向け写真スタジオ運営並びに全国の写真 スタジオに対する販売促進支援事業
メディア関連事業	ゴルフに関わる出版・広告・オンライン事業

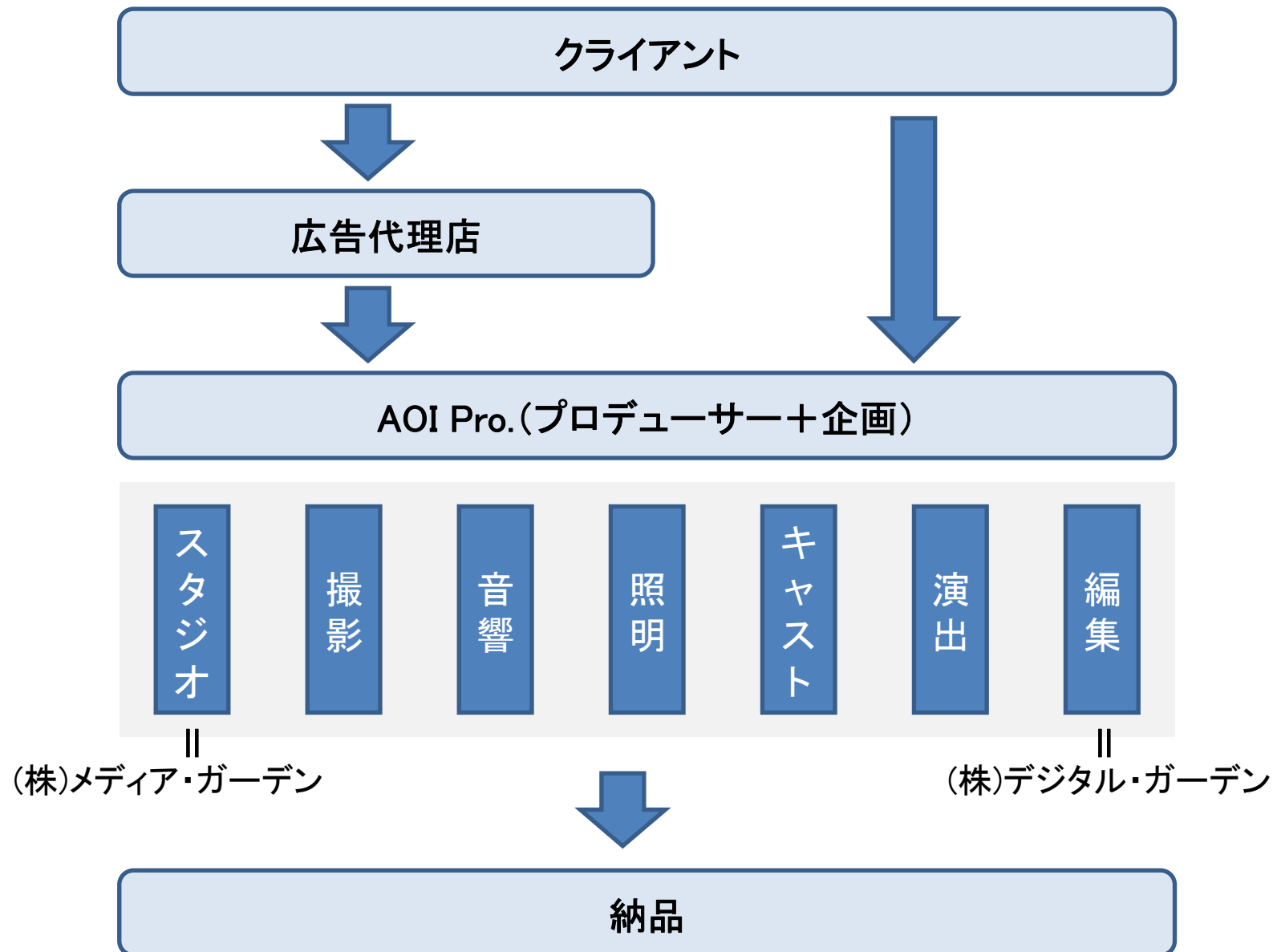
【2013年3月期第2四半期 事業別売上高】



広告制作事業とは



CM制作業務の流れ



写真スタジオ事業とは：（株）ホリーホック

2010年9月に東京ミッドタウンに写真スタジオをオープン。
CM制作のノウハウを生かしたクオリティの高いサービスを提供。（AOI Pro.グループとして初のBtoC事業）
本年5月にはベビー、キッズに特化した自由が丘店をオープン。



AOI Pro.ブランドの認知向上に貢献



グラフブック



東京ミッドタウン店



自由が丘店



データ&ブック

メディア関連事業とは



×



- ・ブランド力
- ・編集力

- ・映像制作力
- ・インターネットを使ったサービス開発力



すべてのゴルフファンに
新しい価値とゴルフライフを



週刊パーゴルフ



430万人を超えるファンを獲得

AOI Pro.の競合環境

業界内競合の現状

- ・TVCMをはじめとする映像コンテンツ制作の業界団体JACの正会員社数は95社。(2012年2月現在)
- ・そのうち、TVCM制作事業を中核事業のひとつとする上場企業は当社を含め3社。



創業来50年間で培った信頼と実績を基に
業界最大手の一角としての地位を確立

AOI Pro.の強み

1.映像を企画から制作まで自社で対応できるノウハウとリソースを保有。

- ・自社にプランナー、演出家を抱え、クリエイティブな提案が可能。
- ・自社グループで撮影スタジオ、編集スタジオを保有。

2.お客様のニーズに合わせた広告制作にワンストップで対応。

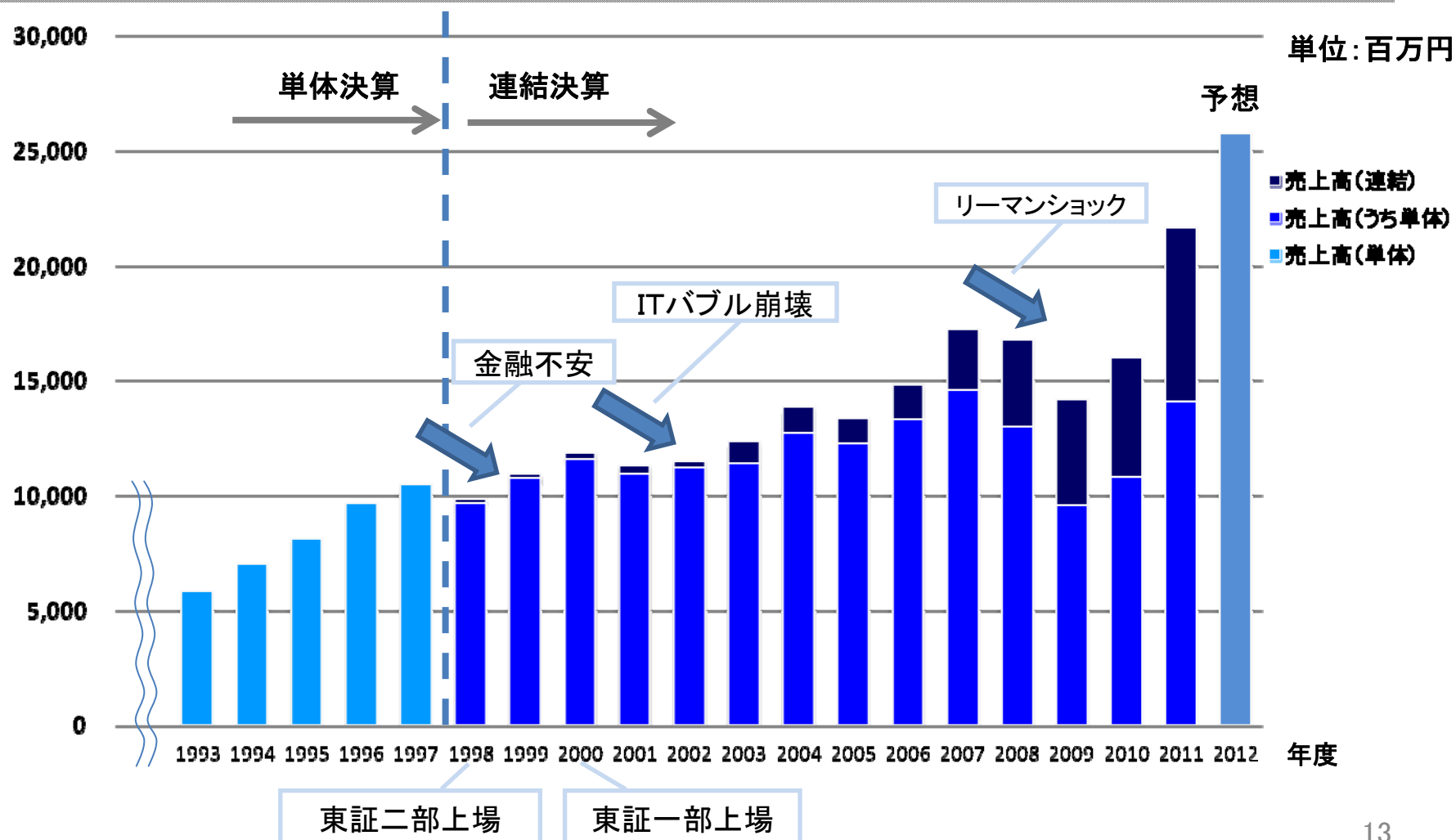
- ・映像、Web、紙等の各種プロモーションツールやイベントなど全て自社グループで制作可能。

3.上場会社としてコーポレート・ガバナンスを強化。

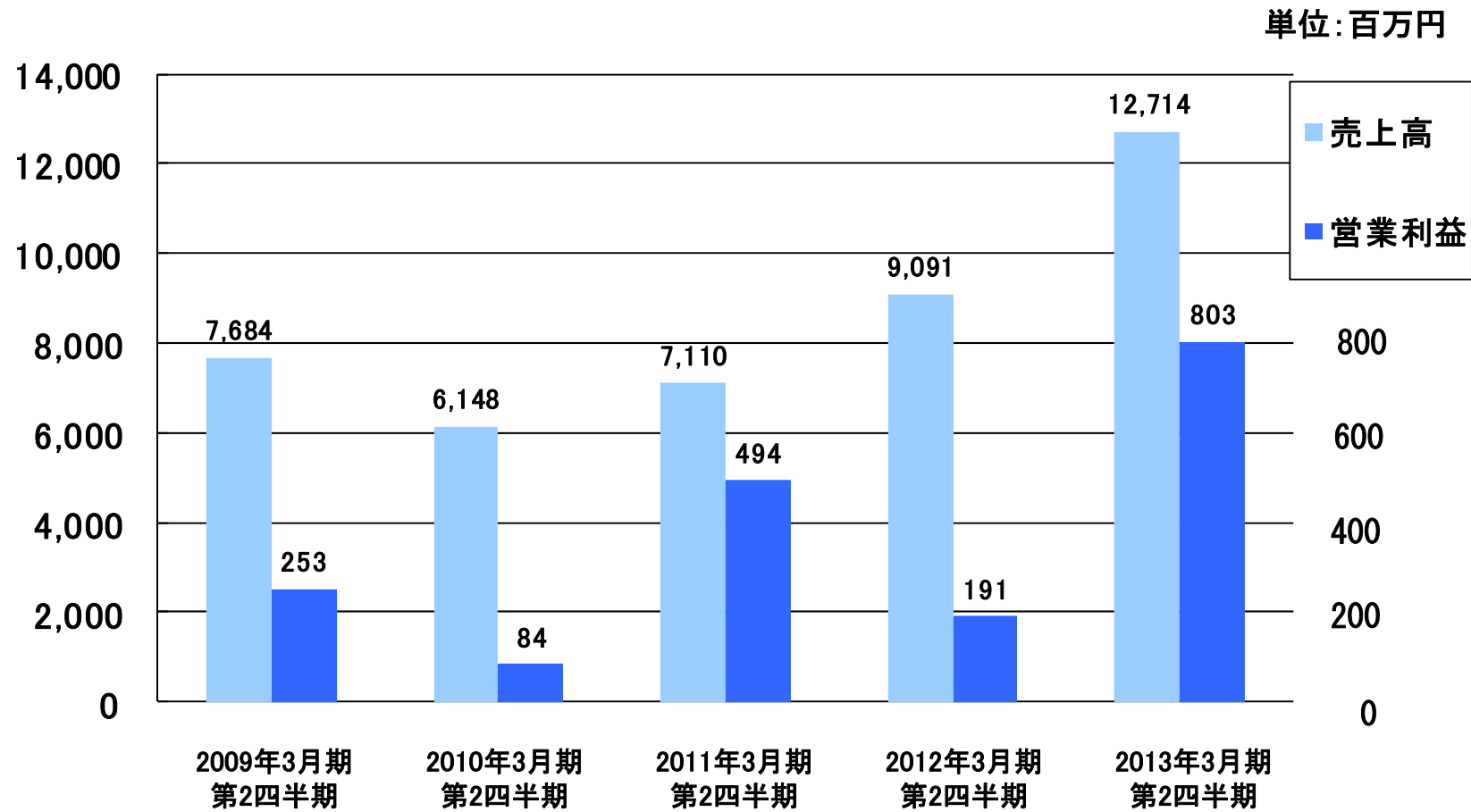
- ・コンプライアンスに関する体制を整備。
- ・Pマーク、情報マネジメントシステムの国際的規格の認証を取得し、情報管理体制を整備。

売上高の推移

創業以来、基本的には右肩上がりの成長を維持。
直近では、リーマンショック後、V字回復。



2013年3月期第2四半期 業績(連結)



2013年3月期第2四半期 業績(連結)

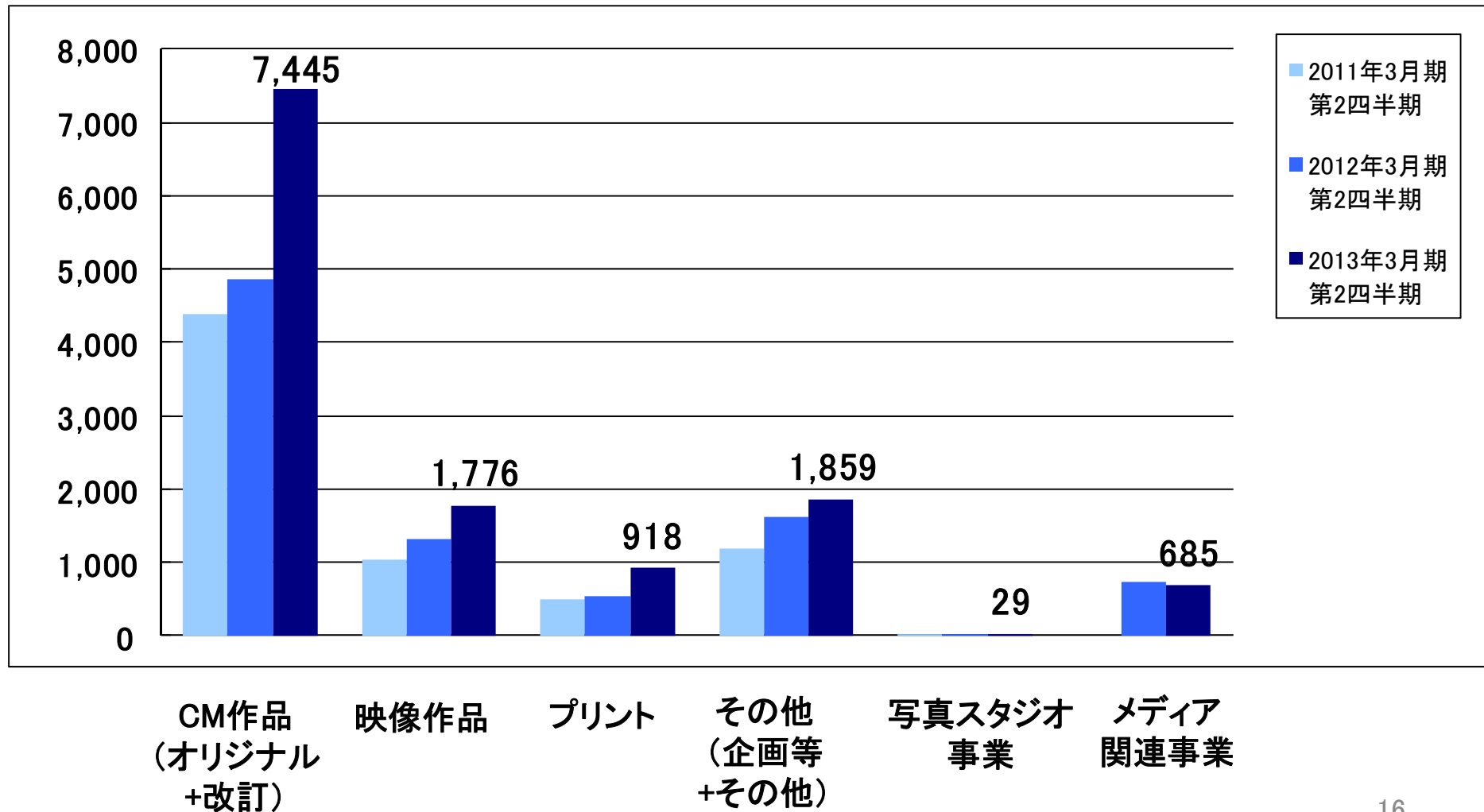
単位:百万円

	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	売上高比	前年同期比
売上高	9,091	12,714	—	139.9%
営業利益	191	803	6.3%	419.2%
経常利益	177	771	6.1%	434.8%
当期純利益	72	284	2.2%	393.4%

部門別売上高

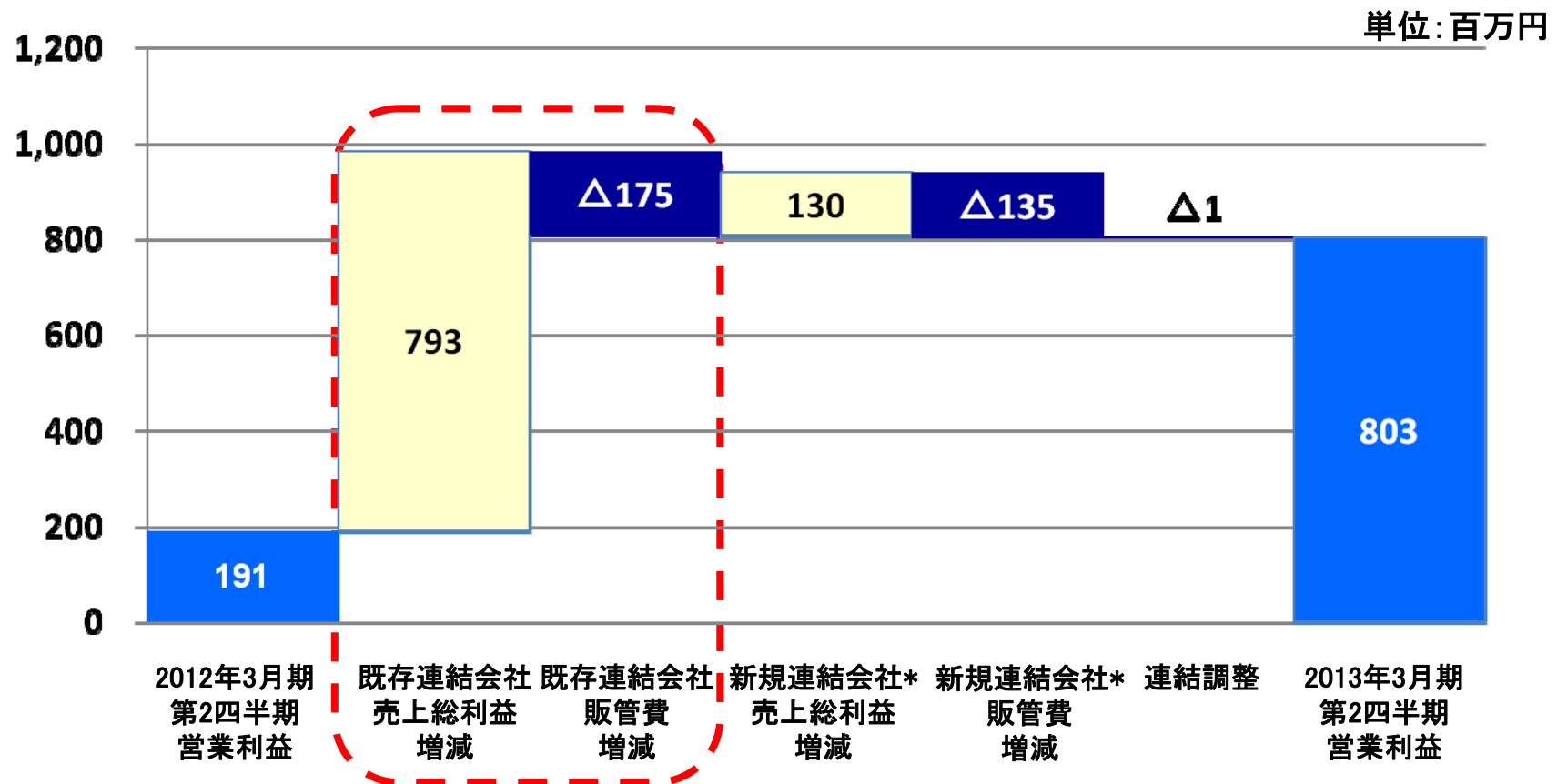
主力のCM作品の売上が好調

単位:百万円



営業利益増減要因分析

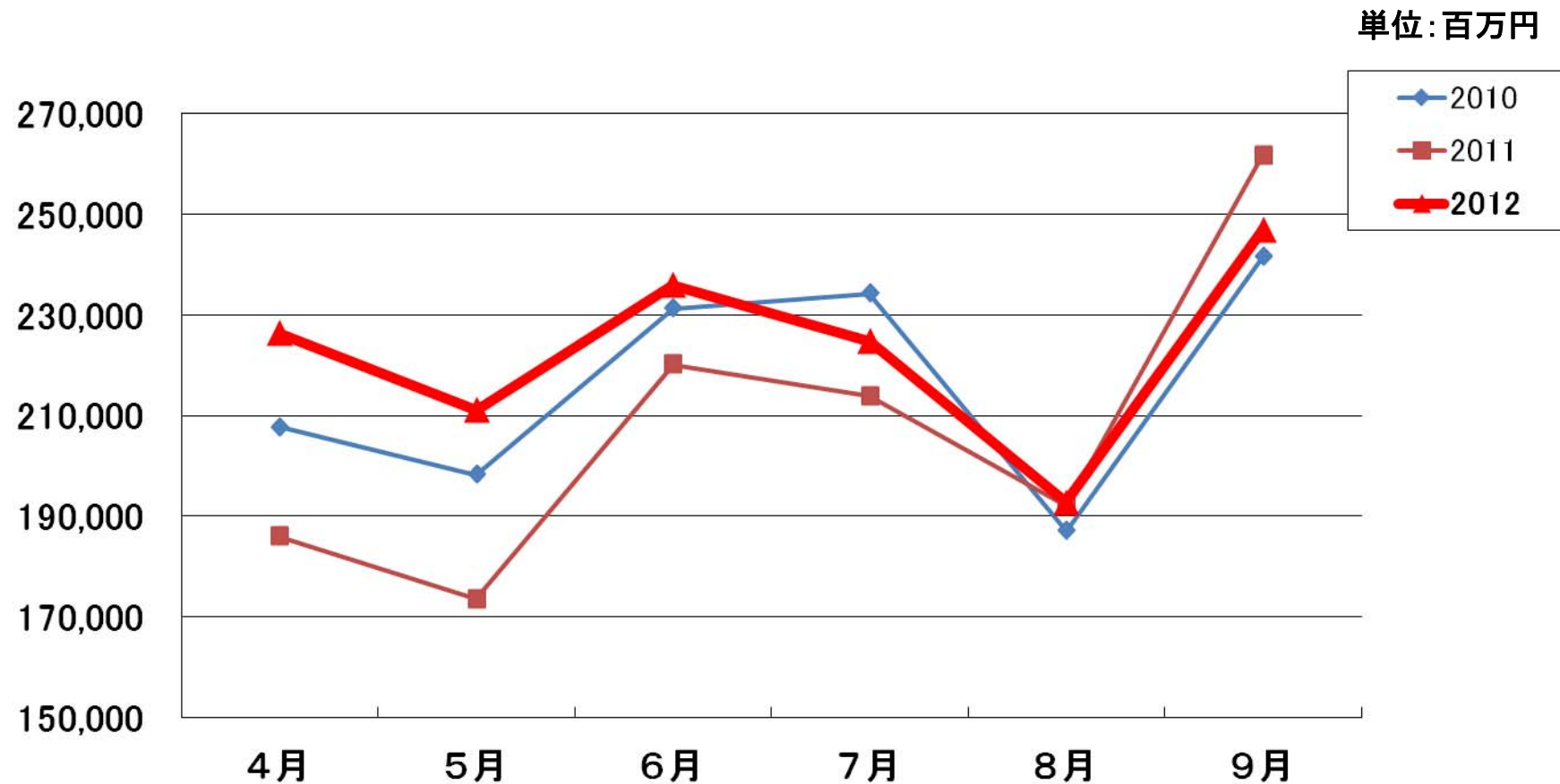
AOI Pro.他既存連結会社の売上増加に伴う
売上総利益増加が主要因



* 新規連結会社：ティー・ケー・オー(2011年7月にグループ化)/ビジネス・アーキテクト(2011年7月にグループ化)
AOI ASIA INDONESIA (2011年9月設立)/C3BKK (2012年1月設立)

業界動向：広告代理業大手9社売上高推移

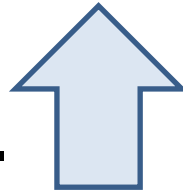
広告需要は第1四半期に伸び率が上昇するも
第2四半期は緩慢な動き



出典：「広告と経済」

広告需要動向を上回って好調に推移

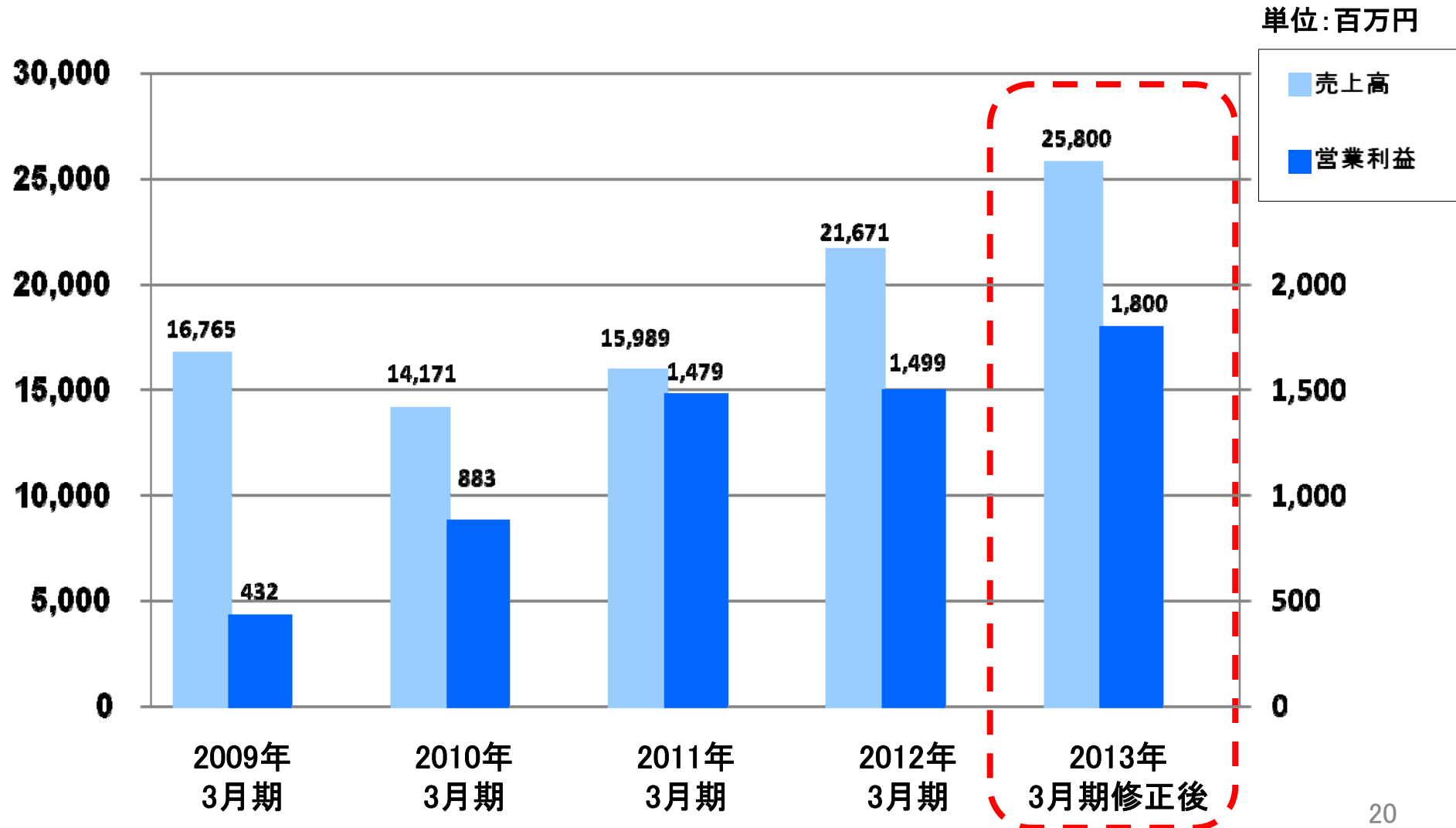
前述の強みに加えて...



1. AOI Pro.のDNAを受け継いだプロフェッショナルの育成
 - ・組織見直し(人材開発部の新設、プロダクションマネージャーを各ユニットに配属等)
 - ・外部有識者を招いた研修の導入
 - ・権限委譲 etc...
2. この2年間における新たな取組みとの相乗効果で主力のCM制作が好調
 - ・インドネシア現地法人の設立
 - ・M&A等によるデジタル部門強化 etc...

通期業績予想（連結）

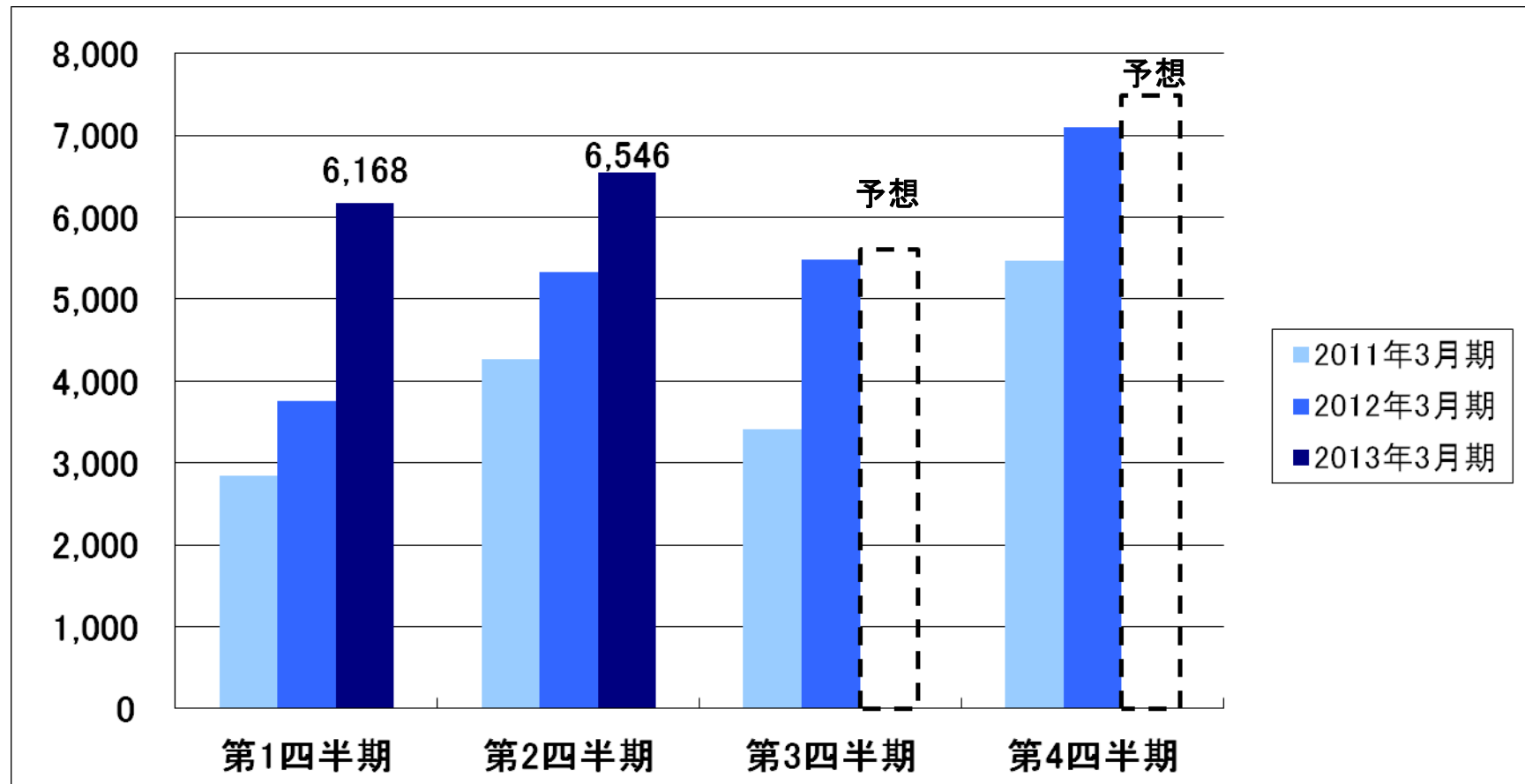
第2四半期決算発表時に上方修正



四半期売上推移（連結）

足元の受注状況から第3四半期、第4四半期は
前年同期比微増で見込む

単位：百万円



2. 今後の取組み

当社を取り巻く環境の変化

メディアの多様化

※4マス⇒4マス+インターネットを中心としたデジタルメディア

デバイスの多様化

TV⇒TV+スマートフォン、タブレット、デジタルサイネージetc...



※4マス=テレビ、新聞、雑誌、ラジオ

消費者のTVに接する時間が減少する一方で、TV以外のメディア、デバイスで映像に接する機会は増加



中長期的に、TVCM制作マーケットの大幅な拡大は難しいものの、映像に対するニーズは高まっていく

中長期的に取り組むべき重点分野

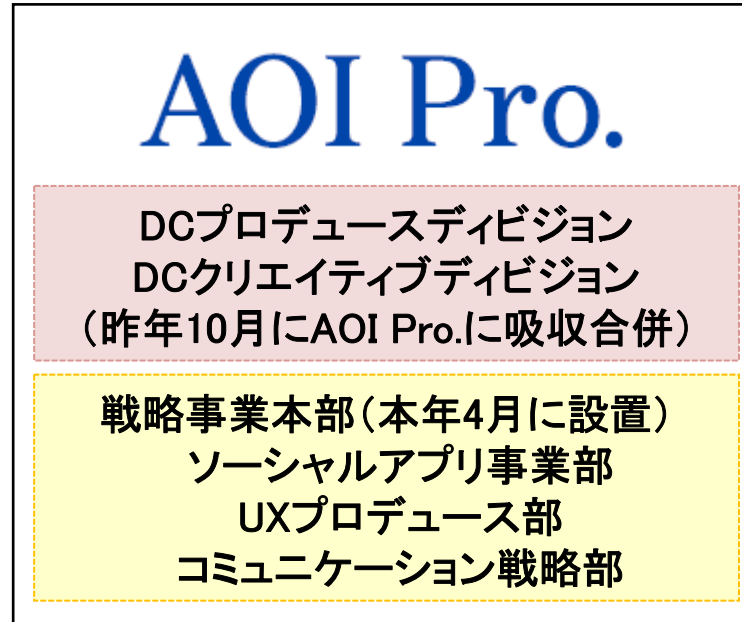
デジタル

自社グループで一貫して、インターネットなどのデジタルメディアに対応した効果的な広告物を制作する体制を構築するため、社内外のリソースを再編成する。

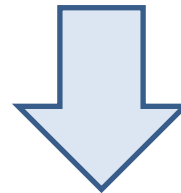
グローバル

AOI Pro.グループのサービスを品質はそのままに海外へ展開。特に東南アジアを中心に積極的に取り組む。

AOI Pro.グループにおけるデジタル部門の再編



(昨年7月にM&Aにより子会社化)



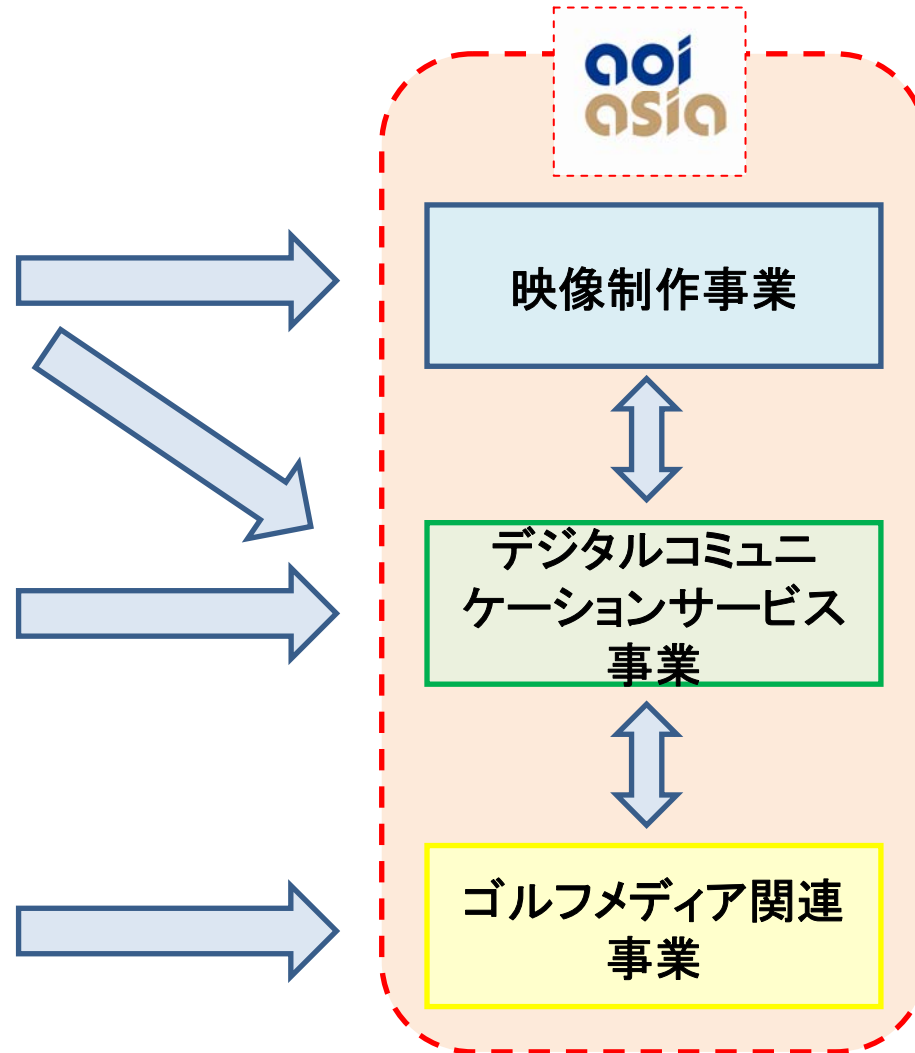
お客様のニーズに沿った適切な
コミュニケーションサービスを提供できる体制を構築

AOI ASIAにおける事業展開

日本国内での事業主体



AOI ASIAとして一体で展開



AOI ASIAの拠点展開



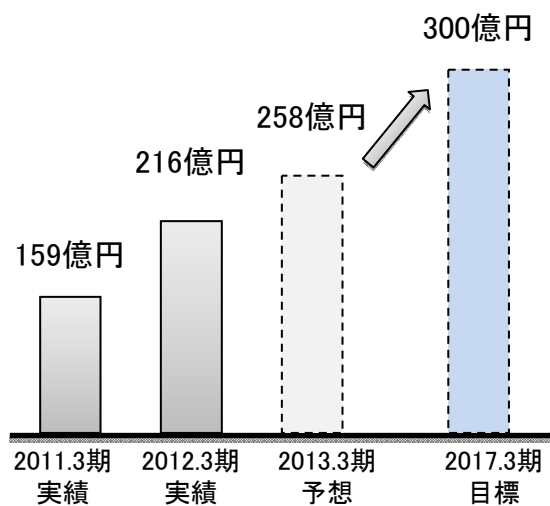
- ▲ 映像制作事業
- ゴルフメディア関連事業
- ★ 統括拠点

本年11月にシンガポールに統括拠点を設置
さらなるネットワークの拡大を検討中

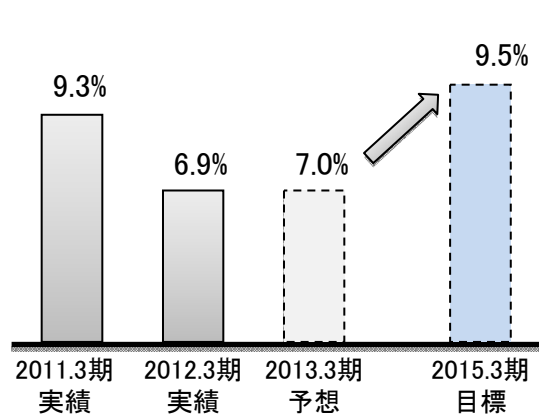
中期連結経営目標

目標指標	目標数値
連結売上高	300億円(2017年3月期)
連結営業利益率	9.5%(2015年3月期)
連結ROE	10.0%(2015年3月期)

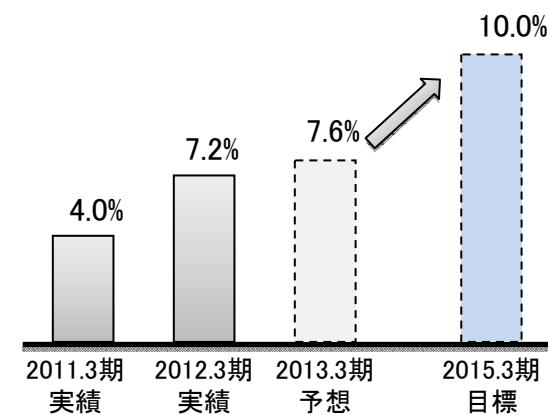
売上高



営業利益率



ROE



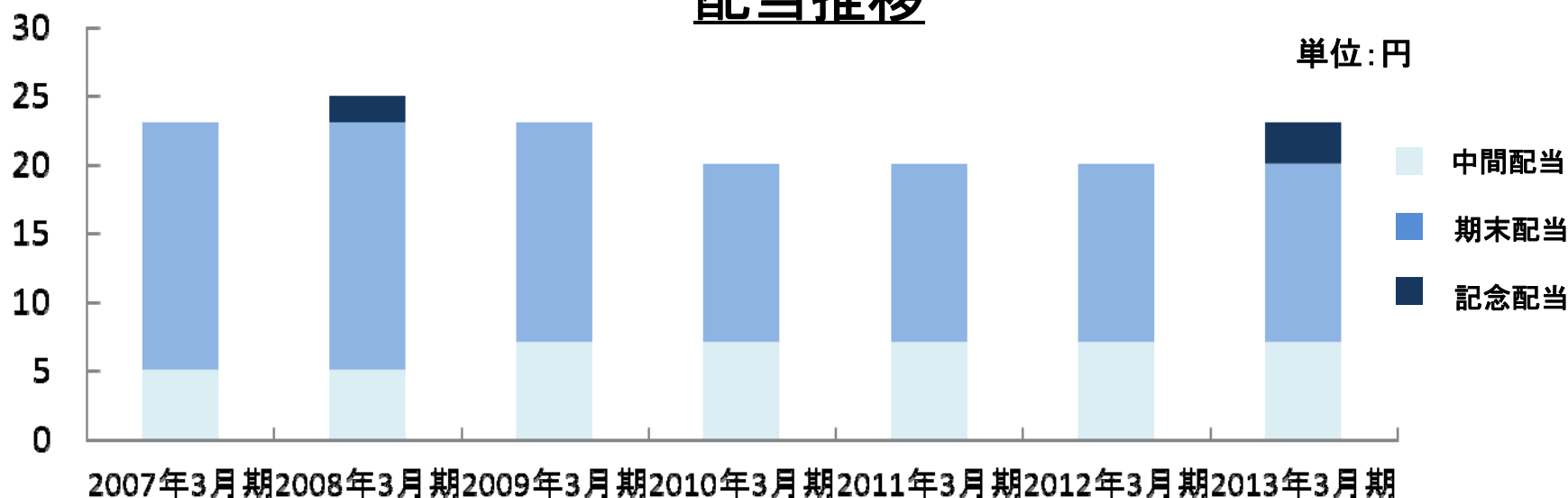
株主還元

経営基盤と財務体質の強化を図るとともに、株主の皆様に積極的かつ継続的に利益還元を行う考えであり、配当に関しては今後の収益予想を踏まえ、当面下記のとおり実施。

- ① 配当性向30%以上
- ② 1株当たり年10円以上

配当推移

単位：円



配当性向
(連結ベース)

171.1%

117.1%

-

57.1%

221.4%

47.7%

予想

33.7%

本日はありがとうございました。

本プレゼンテーションには、経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。

社会・経済・競合状況の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。